



キャンプ砂防 2023 参加者募集

土砂災害

にふれる

過去に起こった災害現場視察や砂防工事の実習を行い、日頃机上では学べない最先端の現場作業などを体験します。



山の鼓動

を感じる

崩壊地を歩き、植生を知り、川の流れを感じ、自然と人々との関わりを実体験することによって、そこに住む人々の生活を知ります。また、災害体験等を通じて土砂災害の危険性を学びます。



まちづくり

を考える

地域の方々の講話や観光業体験、地域イベント等に参加し、まちおこしについて考えます。



モノ

を作る

農業体験や林業体験、機織りや木材加工など、地場産業や地域文化の体験を通じて中山間地の現状を学びます。



キャンプ砂防とは

我が国は、急峻な地形、脆弱な地質等により土砂災害を受けやすい自然状況下にあります。

さらに、近年中山間地では、過疎化、高齢化に伴い森林管理の衰退や耕作放棄地の増加などにより荒廃が進んでおり、土砂災害の発生等大きな社会問題となっております。一方でこのような中山間地域においては、活力ある地域づくりのために各地域の個性を活かした様々な取り組みがなされています。

このような中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地における砂防の意義・役割を考えることを目的として、平成8年度より「キャンプ砂防」が実施されており、現在までに2,200名を超える学生の方々に参加していただいております。

◆キャンプ砂防運営委員会／【事務局】国土交通省砂防部砂防計画課
〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-3 TEL 03-5253-8111 FAX 03-5253-1610

◆キャンプ砂防推進協議会／【運営担当】NPO 法人土砂災害防止広報センター
〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲 4-11 TEL 03-5614-1114 FAX 03-5614-1109

<https://sabopc.or.jp/camp-sabo2023/>



～参加者の声～

毎日テーマに沿って回っていくことでまとまって理解することが出来た。同じ堰堤と呼ばれるものでもそれぞれ目的が違っていた相違点を見つけやすかった。

現場に実際に行き実物を見ると言うことが多かったため、砂防事業の目的や効果、問題点をすんなり理解することが出来た。また、国土交通省の仕事内容についても知ることができ将来のイメージが立てやすくなった。

東京都 大学3年 女性

非常に有意義な体験だった。

砂防事業の一環として国土交通省が主体の施設を見学し、施設の必要性や、施工の目的、限られた時間や制約の中どのように問題に立ち向かうかなど、難しい問題に取り組みされていてとても刺激を受けた。

今回参加したことで、どういった業務をしているのか、どういった時にやり甲斐を感じるかなど、職員の方々の生の声を聞くいい機会であったと感じている。

熊本県 大学3年 男性

施工現場での見学や体験植樹、UAV 測量体験など、砂防分野に関わることを幅広く学ぶことが出来た。多くの土木技術者の方々にお世話になり、将来就職した際のイメージを持つことが出来た。

河川と砂防が密接に関係していることを実感し、専門的に学んでいる分野のみに特化するのではなく、砂防を含めたその他の土木分野についても積極的に学んでいこうという意識が強くなった。

滋賀県 大学院1年 女性